



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月29日

上場会社名 愛三工業株式会社 上場取引所 東名
 コード番号 7283 URL https://www.aisan-ind.co.jp/
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)野村 得之
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)新美 浩 (TEL) 0562-47-1131
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	49,197	28.5	3,375	—	3,644	—	3,079	—
2021年3月期第1四半期	38,277	△27.0	△1,624	—	△2,316	—	△2,337	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 6,026百万円 (—%) 2021年3月期第1四半期 △6,455百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	48.88	48.86
2021年3月期第1四半期	△37.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	197,220	93,064	45.3
2021年3月期	189,918	87,773	44.3

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 89,261百万円 2021年3月期 84,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	7.00	—	11.00	18.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	13.00	—	14.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	97,000	27.4	5,000	—	5,000	—	3,100	—	49.21
通期	195,000	7.5	10,000	101.8	10,000	100.5	6,200	75.8	98.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P7「会計方針の変更」をご参照ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	63,024,396株	2021年3月期	63,018,396株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	26,749株	2021年3月期	26,726株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	62,993,153株	2021年3月期1Q	62,991,880株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の条件に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料P2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、2021年7月29日の決算発表後、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の自動車業界は、半導体の供給懸念に伴う不安定なサプライチェーンによる足元の自動車生産台数への影響や、新型コロナウイルス感染症による影響の長期化により、先行きの不透明感が顕在化しました。

このようななか、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は49,197百万円（前年同期比28.5%増）となりました。利益につきましては、営業利益は3,375百万円（前年同期は営業損失1,624百万円）、経常利益は3,644百万円（前年同期は経常損失2,316百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,079百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2,337百万円）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等の適用により、売上高が1,367百万円減少しております。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

[日本]

売上高は、販売量の増加により22,411百万円（前年同期比38.0%増）となり、営業利益は728百万円（前年同期は営業損失2,333百万円）となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は1,367百万円減少しております。

[アジア]

売上高は、販売量の増加により21,653百万円（前年同期比34.6%増）となり、営業利益は1,685百万円（前年同期比17.1倍）となりました。

[米州]

売上高は、販売量の増加により6,807百万円（前年同期比4.1%増）となり、営業利益は520百万円（前年同期比61.6%増）となりました。

[欧州]

売上高は、販売量の増加により3,426百万円（前年同期比10.6%増）となり、営業利益は309百万円（前年同期比92.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ7,301百万円増加し、197,220百万円となりました。負債は、未払費用の増加などにより、前連結会計年度末に比べ2,011百万円増加し、104,155百万円となりました。

また、純資産は、円安による為替換算調整勘定の増加および利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ5,290百万円増加し、93,064百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想ならびに配当予想につきましては、2021年4月27日の公表数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,845	49,926
受取手形及び売掛金	25,882	25,067
電子記録債権	3,943	4,087
有価証券	1,484	1,484
商品及び製品	6,713	7,520
仕掛品	3,347	3,565
原材料及び貯蔵品	11,679	12,757
その他	5,209	4,886
貸倒引当金	△28	△41
流動資産合計	103,078	109,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,679	19,217
機械装置及び運搬具（純額）	29,677	30,400
土地	6,994	6,875
建設仮勘定	4,364	3,591
その他（純額）	4,305	4,371
有形固定資産合計	64,022	64,456
無形固定資産		
投資その他の資産	1,029	1,033
投資有価証券	5,525	5,752
退職給付に係る資産	8,380	8,396
繰延税金資産	7,042	7,478
その他	886	894
貸倒引当金	△47	△47
投資その他の資産合計	21,787	22,474
固定資産合計	86,839	87,964
資産合計	189,918	197,220

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,508	21,448
電子記録債務	2,222	2,693
短期借入金	7,448	7,290
1年内返済予定の長期借入金	6,370	6,429
未払費用	8,052	9,816
未払法人税等	734	1,386
製品保証引当金	1,940	1,977
役員賞与引当金	79	28
事業構造改善引当金	294	278
その他	5,062	4,546
流動負債合計	53,714	55,895
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	19,733	19,666
繰延税金負債	1,568	1,237
役員退職慰労引当金	67	64
退職給付に係る負債	16,213	16,438
その他	848	852
固定負債合計	48,430	48,259
負債合計	102,144	104,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,684	10,687
資本剰余金	12,643	12,646
利益剰余金	62,088	64,475
自己株式	△25	△25
株主資本合計	85,391	87,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,885	3,044
為替換算調整勘定	△5,339	△2,782
退職給付に係る調整累計額	1,268	1,216
その他の包括利益累計額合計	△1,185	1,477
新株予約権	151	113
非支配株主持分	3,415	3,689
純資産合計	87,773	93,064
負債純資産合計	189,918	197,220

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	38,277	49,197
売上原価	36,072	41,685
売上総利益	2,204	7,511
販売費及び一般管理費	3,828	4,135
営業利益又は営業損失(△)	△1,624	3,375
営業外収益		
受取利息	76	60
受取配当金	62	62
為替差益	—	182
その他	91	45
営業外収益合計	229	351
営業外費用		
支払利息	80	54
為替差損	416	—
固定資産除売却損	85	17
関係会社出資金売却損	293	—
その他	46	10
営業外費用合計	922	83
経常利益又は経常損失(△)	△2,316	3,644
特別利益		
新株予約権戻入益	33	42
特別利益合計	33	42
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,282	3,686
法人税、住民税及び事業税	410	1,313
法人税等調整額	△360	△849
法人税等合計	50	463
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,333	3,222
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	143
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,337	3,079

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,333	3,222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	263	158
為替換算調整勘定	△4,568	2,698
退職給付に係る調整額	182	△52
その他の包括利益合計	△4,122	2,804
四半期包括利益	△6,455	6,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,109	5,754
非支配株主に係る四半期包括利益	△346	272

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

当会計基準の適用による当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える主な影響は以下のとおりであります。なお、営業利益に与える影響はありません。

- ・従来、売上原価として計上していた一部の費用について、当第1四半期連結会計期間より顧客に支払われる対価として売上高から減額しております。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高および売上原価はそれぞれ1,367百万円減少しております。
- ・買戻し契約に該当する一部の有償支給取引について、当第1四半期連結会計期間より金融取引として棚卸資産を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高について金融負債を認識しております。この結果、当第1四半期連結会計期間の棚卸資産が193百万円、流動資産のその他が112百万円、流動負債のその他が305百万円増加しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき会計処理を行っております。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	米州	欧州			
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	12,885	15,762	6,535	3,093	38,277	—	38,277
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,354	318	7	5	3,685	△3,685	—
計	16,239	16,081	6,542	3,098	41,963	△3,685	38,277
セグメント利益又は損失(△)	△2,333	98	322	161	△1,751	127	△1,624

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額127百万円は、主にセグメント間未実現利益の調整額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	米州	欧州			
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	17,696	21,292	6,787	3,420	49,197	—	49,197
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,714	360	20	5	5,101	△5,101	—
計	22,411	21,653	6,807	3,426	54,298	△5,101	49,197
セグメント利益	728	1,685	520	309	3,243	132	3,375

(注) 1 セグメント利益の調整額132百万円は、主にセグメント間未実現利益の調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「日本」の売上高が1,367百万円減少しております。なお、セグメント利益に与える影響はありません。

2021年度 第1四半期 決算概要

2021年7月29日

愛三工業株式会社

決算のポイント

- ・売上高は、半導体の供給懸念や新型コロナウイルス影響がありながらも、順調に回復して増収。
- ・営業利益は、売上増加と損益分岐点売上高の改善活動成果により大幅な増益。
- ・年間業績予想は、半導体の供給懸念や新型コロナウイルスによる影響の長期化により、先行きが不透明なため据え置き。

1. 連結業績

単位：百万円

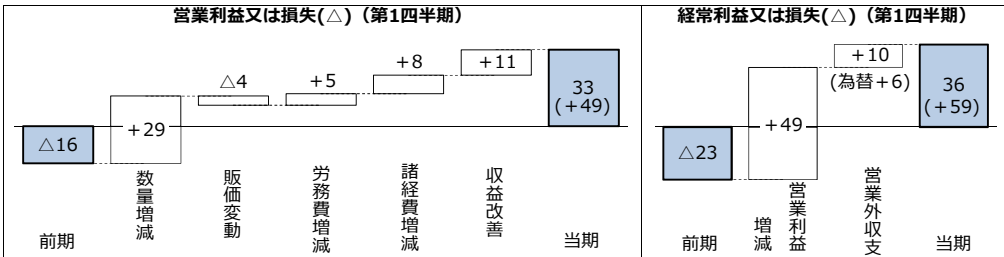
		前第1四半期 (2020/4~2020/6)	当第1四半期 (2021/4~2021/6)	増減	増減率
売上高		(100.0) 38,277	(100.0) 49,197	10,919	28.5%
営業利益(△損失)		(△4.2) △1,624	(6.9) 3,375	4,999	-
経常利益(△損失)		(△6.1) △2,316	(7.4) 3,644	5,960	-
四半期純利益(△損失)		(△6.1) △2,337	(6.3) 3,079	5,416	-
為替レート	1~3月	USドル(円)	109	106	[3円 円高]
		ユーロ(円)	120	128	[8円 円安]
為替レート	4~6月	USドル(円)	108	109	[1円 円安]
		ユーロ(円)	118	132	[14円 円安]
1株当たり四半期純利益(△損失)(円)		△37.11	48.88	85.99	-
連結子会社数		28社	28社	[±0社]	-

(注1) () 内は売上高比率です

(注2) 四半期純利益(△損失)は「親会社の所有者に帰属する四半期純利益(△損失)」を示します

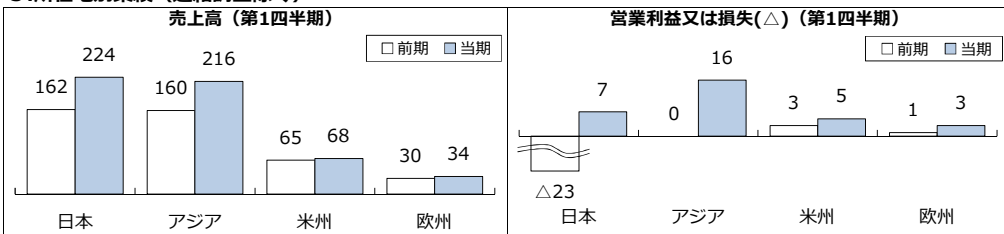
2. 利益の増減要因(対前年同期比)

単位：億円



3. 所在地別業績(連結調整除く)

単位：億円



4. 通期の連結業績予想

単位：百万円

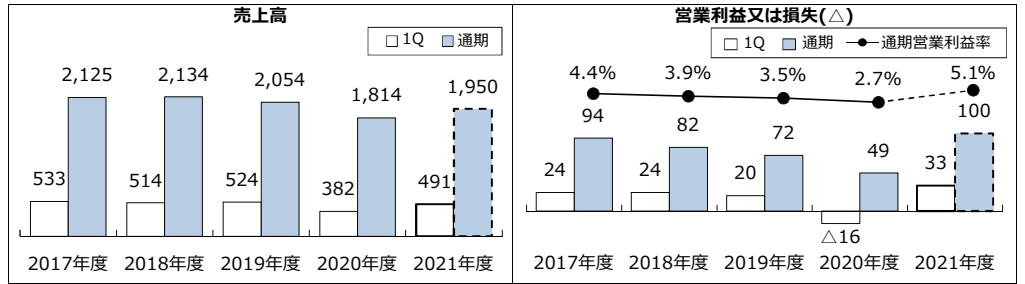
		2020年度 (2020/4~2021/3)	2021年度 (2021/4~2022/3)	増減	増減率
売上高		(100.0) 181,427	(100.0) 195,000	13,572	7.5%
営業利益		(2.7) 4,956	(5.1) 10,000	5,043	2.0倍
経常利益		(2.7) 4,986	(5.1) 10,000	5,013	2.0倍
当期純利益		(1.9) 3,525	(3.2) 6,200	2,674	75.8%
為替レート	USドル(円)	106	105	[1円 円高]	
	ユーロ(円)	124	125	[1円 円安]	
1株当たり当期純利益(円)		55.97	98.42	42.45	75.8%

(注1) () 内は売上高比率です

(注2) 当期純利益は「親会社の所有者に帰属する当期純利益」を示します

5. 連結業績推移

単位：億円



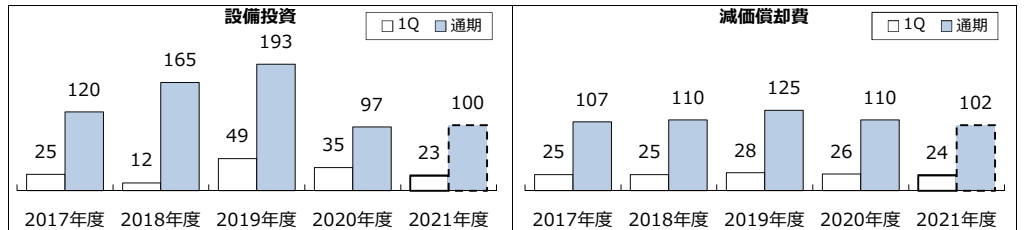
6. 連結売上高明細

単位：百万円

		前第1四半期 (2020/4~2020/6)	当第1四半期 (2021/4~2021/6)
		金額	構成比
自動車部品	燃料系製品	17,077	44.6%
	燃料ポンプモジュール	15,913	41.6%
	インジェクタ	699	1.8%
	その他	464	1.2%
	吸排気系製品	10,858	28.4%
	スロットルボデー	7,575	19.8%
	EGRバルブ	2,120	5.5%
	その他	1,162	3.1%
	排出ガス制御系製品	6,210	16.2%
	キャニスタ	5,270	13.8%
その他	940	2.4%	
動弁系製品(エンジンバルブ)	1,586	4.1%	
その他の自動車部品	1,371	3.6%	
小計	37,104	96.9%	
その他	1,173	3.1%	
合計	38,277	100.0%	

7. 財務指標の推移

単位：億円



研究開発費

単位：億円

